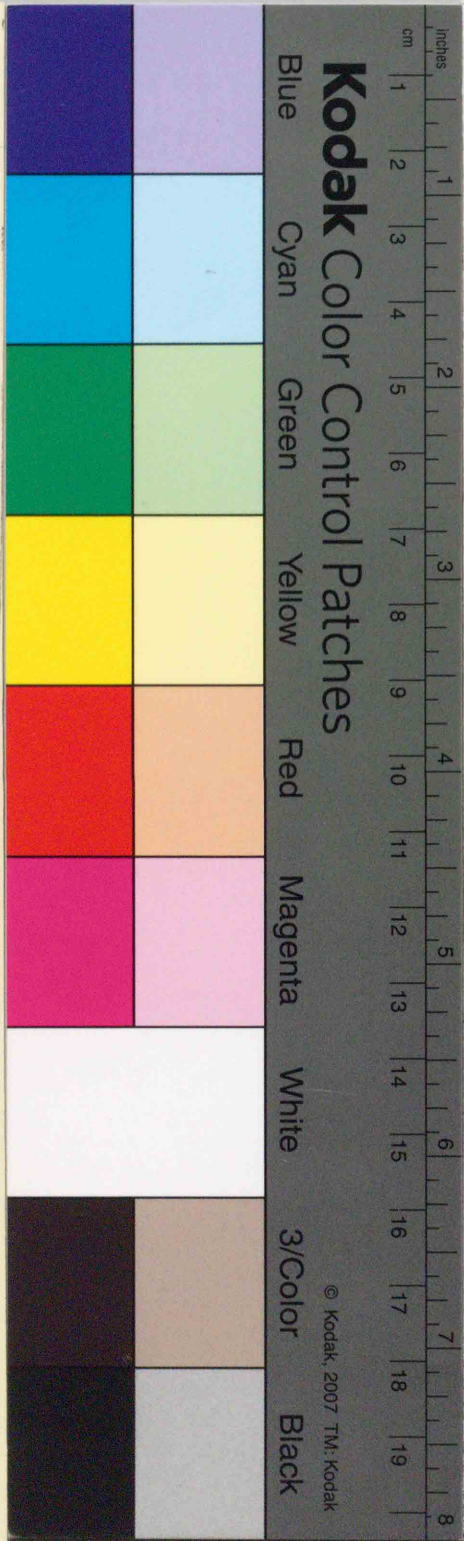


41031

教科書文庫

4
760
42-1930
01304 49449



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

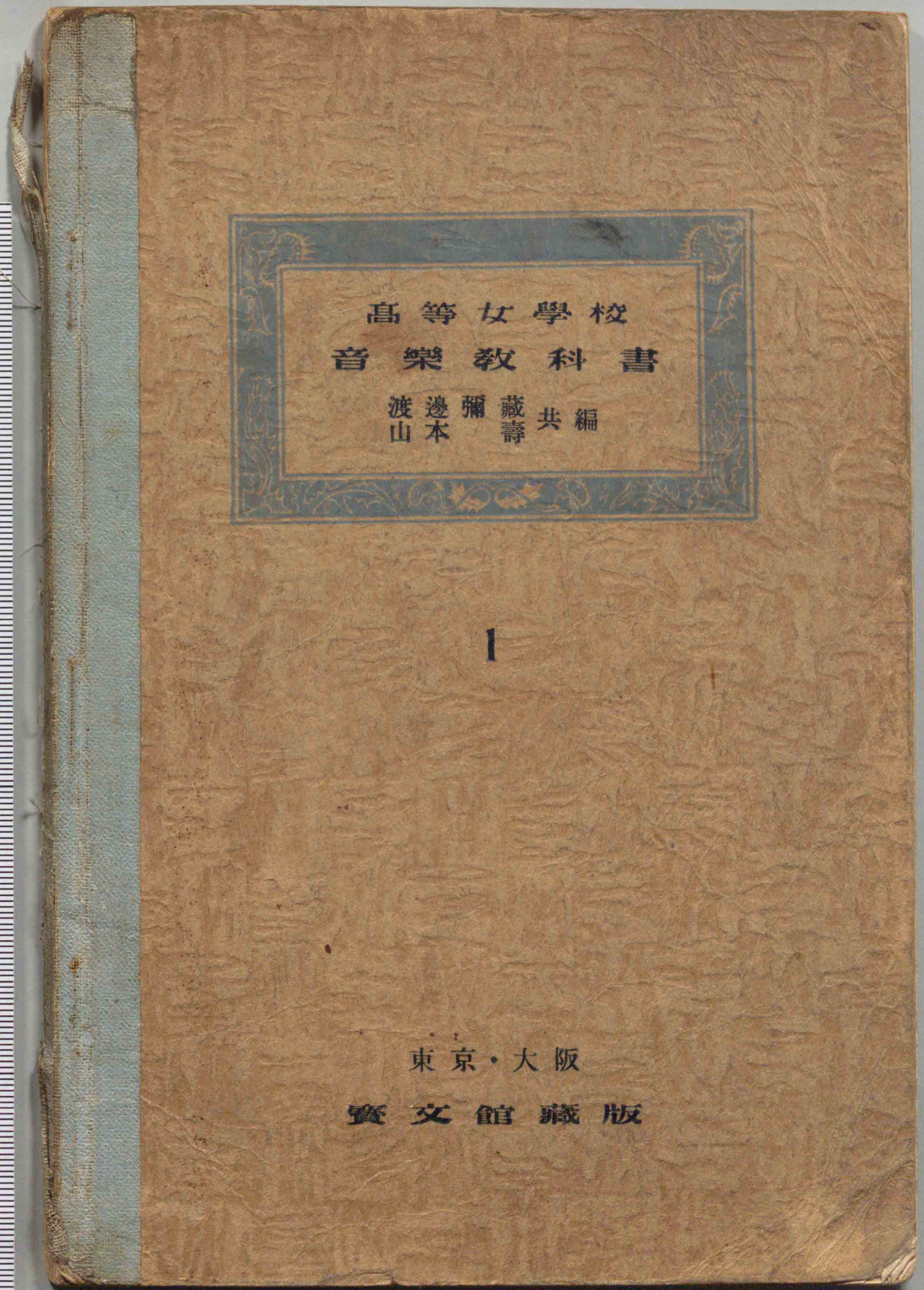
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



高等女學校
音樂教科書

渡邊彌藏 共編
山本壽

1

東京・大阪
寶文館藏版

中央図書館

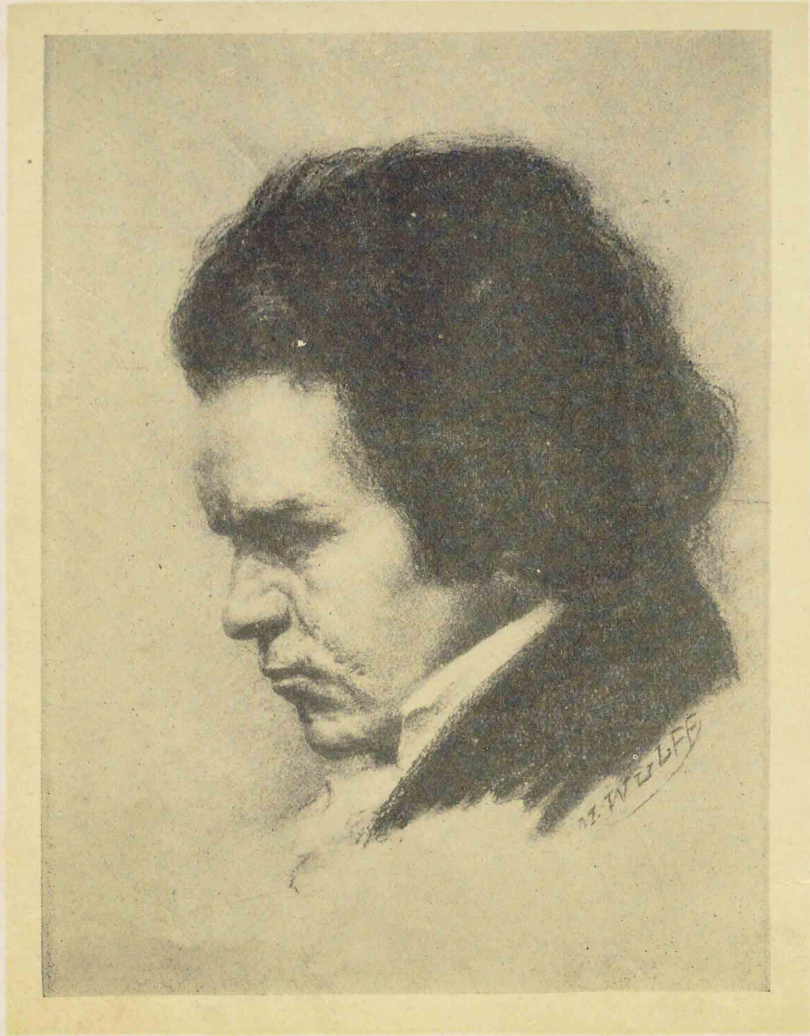
広島大学図書

0130449449



200

Ludwig van Beethoven



ベートーヴェン

文 部 省 検 定 済

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

高等女學校
音樂教科書

渡 邊 彌 藏 共 編
山 本 壽

1

東京・寶文館・大阪

緒 言

本書は現代の高等女学校の音楽教科書として編纂したものである。併し女子師範学校に於ても勿論適用さるべきものである。

本書に載する百數十曲は何れも編者が多年に亙つて小学校・中等学校に於て實地に教授し、其の最も適當なるもののみを採つて編纂したものである。故に大體に於て其の適度を心得て居るものと信ずる。

歌曲は専ら西歐の大家の名曲、若くは有名なる民曲等を選び、歌詞は斯道の大家、若くは實際教育に當り音楽を理解さるる専門家に委嘱して特に作詞し、更に實地教授を試み、その歌曲調和せるもののみを採つたものである。之は女学校卒業の後も愛誦するに足るものたらしめんが爲である。

本書は他の類書よりも稍々その程度の高きものを選んである。之は日に日に進んで止まざる現代女性の音楽教育に伴ふためである。

本書の歌曲は現代法規の時間に於ては全部教授し了る事能はざる多數を載せてある。之は土

目 次

§ 1. 音樂の意義	P. 1
§ 2. 音樂の組織	1
§ 3. 音の發生	1
§ 4. 樂音と噪音	2
§ 5. 聲樂と器樂	2
§ 6. 發聲及び發音	2
母音の口形	3
§ 7. 音 階	4
§ 8. 譜 表	5
§ 9. 音 名	6
§ 10. 音部記號	7
§ 11. 音 符	8
§ 12. 默 符	9
§ 13. 拍 子 (一)	10
§ 14. 拍子記號	11
§ 15. 四 拍 子	11
§ 16. 四分の四拍子	11
發聲練習	12

地の状況、教授の進度等を斟酌して選擇の餘地を置いたものである。

樂典は五學年を通じて學了すべきやう配置したがため必ずしも歌曲と一致並行して居らぬ場合もある。教授者は前後を通覽して教授の運用を計られたい。

音程練習曲は歌曲の並行と學年の程度に應じて案排してある、曲數少くとも反復練習を重ねなば十分その目的を達する事が出来ようと思ふ。

四學年制の高等女學校に於ては第四卷を以て完了するも毫も差支ない。若し補習科に於て第五卷を之に充つれば最も適當であらう。

卷末の附録英語唱歌は各學年に適應した各國國歌及び最も有名にして愛誦措かざるもの數曲を配してある。英語科と連絡を保ち、生徒の參考に供されなば裨益する所蓋し僅少ではあるまいと信ずる。

編 者 誌

發音練習 (一)	13
發音練習 (二)	14
§ 17. ハ調の長音階	15
音階練習 (一)	15
金剛石、水は器	16
春の野	18
§ 18. 弱起小節	18
和音の練習	20
§ 19. 發想記號 (一)	20
§ 20. 音程 (一)	21
音程練習 (二度)	22
誠の徳	23
音程練習 (二度)	24
§ 21. 八音	24
§ 22. 二拍子 (一)	25
§ 23. 四分の二拍子	25
友愛	26
§ 24. 變化記號 (一)	28
§ 25. ト調の長音階	29
§ 26. 三拍子	30

§ 27. 四分の三拍子	30
三拍子の練習 (a)	30
§ 28. 八分の三拍子	30
三拍子の練習 (b)	30
ト調長音階の読み方練習	31
拍子練習	31
樵夫の歌	32
あこがれ	34
拍子及び音程練習	34
§ 29. 二拍子 (二)	36
拍子及び音程練習	36
§ 30. 樂譜の書き方	37
書き方心得	37
§ 31. 樂譜の書き方 (練習の一)	38
§ 32. 樂譜の書き方 (練習の二)	39
汐干狩	40
音程練習 (二度)	40
來れ夏休み	42
§ 33. 變化記號 (二)	44
§ 34. ヘ調の長音階	44

へ調長音階の読み方練習 45

音階練習 (二) 45

文よむ窓 46

§ 35. 發想記號 (二) 47

船遊び 48

§ 36. 變化記號 (三) 50

§ 37. 變化記號 (四) 51

鈴 蘭 52

音程練習 (二度) 52

§ 38. 轉位強聲 (又は切分音) 54

轉位強聲練習 55

金波銀波 56

§ 39. 發想記號 (三) 36

§ 40. 反覆記號 (一) 57

秋 の 山 58

拍子練習 58

月 影 60

§ 41. 速度標示 (一) 61

里 祭 62

音程練習 (三度) 62

§ 42. 音 程 (二) 64

亡 き 友 65

大和撫子 66

三和音練習 66

楽しき家路 68

音程練習 (三度) 68

§ 43. 二調の長音階 70

二調長音階の読み方練習 70

§ 44. 反覆記號 (二) 71

新春の希望 72

今日も暮れゆく 74

河水躍る 76

今日のよき日 78

$\frac{3}{2}$ 拍子の數へ方 78

鳥の囀り 80

音程練習 (三度) 80

慈愛の力 82

拍子練習 82

附 録

§1. 音楽の意義

音楽は音によつて組み立てられ、それに依つて人の感情(喜怒哀樂等の心もち)を表すものである。

§2. 音楽の組織

音楽を組立てるものは
良い音であつて、それが
程よい高さと
正しい長さ、強さを以て動き、
音と音との調和を有つものである。

音楽に用ゐる音を楽音といひ、
その高さを調子といひ、
その長短、強弱の排置を拍子といひ、
音と音との調和を和聲といふ。

§3. 音の發生

音は總べて物體の振動によつて起るものである。

§4. 楽音と噪音

一定の時間に、一定の振動をなして起る音を**楽音**といふ。

楽音は何れも音色と、長さ、高さ、強さを有つてゐる

音楽は主として**楽音**より成る。

その他楽音でない音は皆**噪音**である。

§5. 聲樂と器樂

音楽を二大別して**聲樂**と**器樂**とする。

人聲による音楽を**聲樂**といひ、種々の樂器のみによつて奏する音楽を**器樂**といふ。

§6. 發聲及び發音

良い音聲を出すためには**發聲**、**發音**の練習をなさねばならぬ。

母音の口形

(ア)



(エ)



(イ)



(オ)



(ウ)

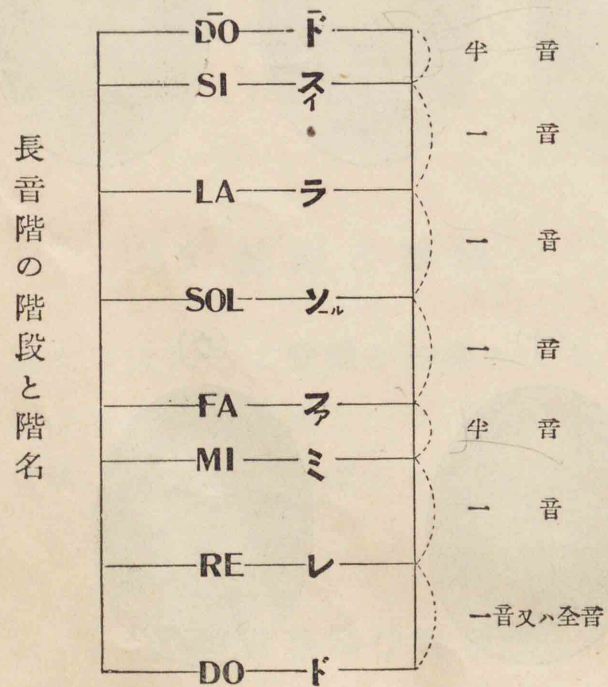


□發聲—聲は小さくとも、口は大きく動かさなさい。

(唱歌十期の一)

§7. 音階

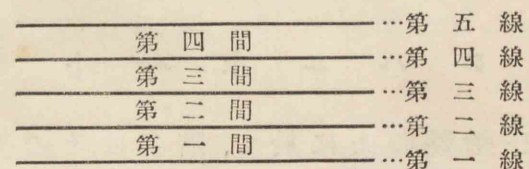
音楽に用ゐる音を、その高さの順序によつて一定の形に列べたものを音階といふ。
それに附けた名稱を階名といふ。



音階には長音階と、短音階の二種がある。何れも一音階中に全音五つと、半音二つを含んでゐる。

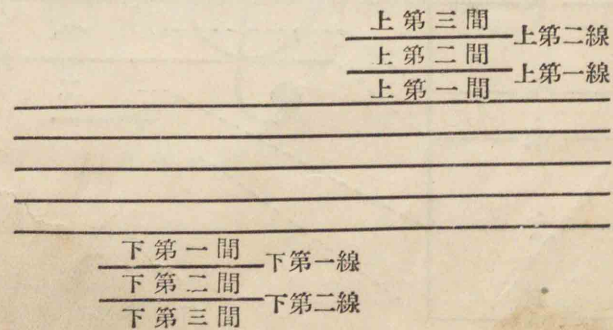
§8. 譜表

譜表は音の高さの位置を示すに用ゐる。



譜表は五つの水平なる同長、同間隔の並行線から成立ち、線も間も記符に用ゐる。

譜表の上と下に、加線を付ける事が出来る。加線によつて出来た間も用ゐる。

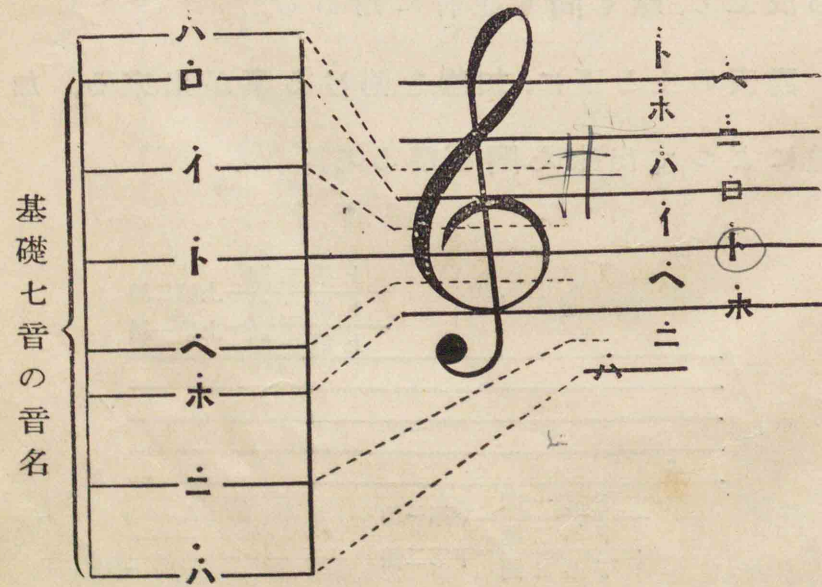


§9. 音 名

音楽に用ゐる基礎七音に、便宜附けた名稱を音名といふ。音名は次の通りである。

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト

譜表及び鍵盤の上に於て、階名はその音階によつて移動するが、音名は一定不變である。



§10. 音 部 記 號

音部記號は樂音の高さを區別する爲めに、譜表の最初に置く。

高音部記號はト音を以て基準とし
低音部記號はヘ音を以て基準とす。



高音部記號
(ト音記號)



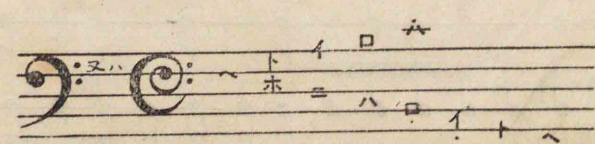
低音部記號
(ヘ音記號)

高音部記號の附いた譜表を高音部譜表、低音部記號の附いた譜表を低音部譜表といふ。

高音部譜表



低音部譜表



§11. 音 符

音符はその形によつて楽音の長さを示すと共に、其の位置によつて音の高さを表す。

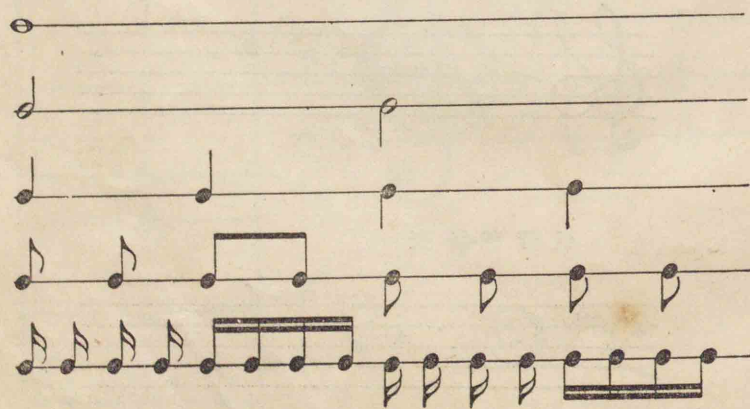
a. 單純音符は符頭、符尾、符鉤から成る。

名 稱	(形)	(拍數)	(長さの割合)
全 音 符	○	4	—————
二 分 音 符	♩	2	—————
四 分 音 符	♪	1	—————
八 分 音 符	♫	1/2	—————
十 六 分 音 符	♬	1/4	—————

符尾 ← 符鉤

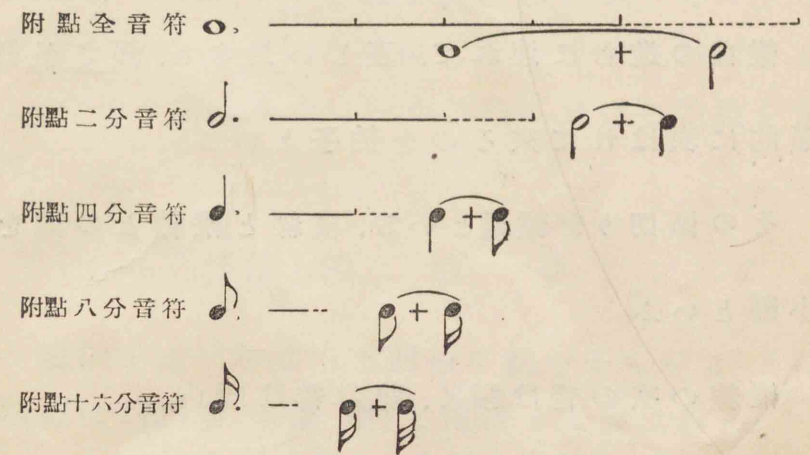
↑ 符頭

各 音 符 の 長 さ



b. 附點音符とは符頭の右側に小圓點を附けたものをいふ。

附點は其主音符の二分の一の長さを加ふ。



§12. 黙 符

黙符は聲音の黙止を示す。

黙符の種類及び時長は、音符と同様である。



黙符の附點も、音符の場合と總べて同様である。

§ 13. 拍 子 (一)

楽曲の進むに連れて、正しい長さ、強さが循環的に表はれて来るのを拍子といふ。

その区切りを縦線といひ、縦線と縦線との間を小節といふ。

縦線の次の音は強く、前の音は弱い。



普通用ゐられる拍子には

二拍子 }
 三拍子 } の種類がある。
 四拍子 }
 六拍子 }

§ 14. 拍 子 記 號

楽譜の首部の音部記號の次に、分數の形を以て記されてあるものを拍子記號といふ。その分母に當るものは一拍の單位となる音符の種類を表し、分子に當るものは一小節内に於ける拍數を示す。

§ 15. 四 拍 子

四拍子は一小節内を四拍に數へるもので、その強弱は | 強、弱、中強、弱 | と循環して現はれる。

§ 16. 四分の四拍子

四分音符を一拍の單位として四拍に數へるものは四分の四拍子といひ、 $\frac{4}{4}$ 或は C を以て拍子記號とする。

> 又は " は強聲音のしるし > 又は ' は中強聲音のしるし



發聲練習

□模範—よい模範^{はん}を、よく聴き、よく學びなさい。
(唱歌十則の二)

發音練習 (一)

- 姿勢—正しい良い聲を出すには、姿勢を正しくせねばなりません。(唱歌十則の三)
- 呼吸—息を胸に一ぱい吸ひ込むと、力あるよい聲が出ます。(同四)
- 咽喉—聲を出すとき、咽喉に力を入れてはいけません。(同五)
- 鼻—鼻聲にならぬやうにして鼻にひいかせると、良い聲が出ます。(同六)
- 齒—下の齒を出さないやうにして歌ふと、柔い良い聲が出ます。(同七)

發音練習(二)

□□—□は横に開けるよりも、豎に開けなさい。

(唱歌十則の八)

□耳—よく聴くものは、よく歌ひます。(同九)

□三つの要點—聲の高さと、長さ、強さにいつもよく氣を附けて歌ひなさい。(同十)

§17. ハ調の長音階

ハ調の長音階は「ハ」音を第1音(Do)とする。此の音階は第1音から第8音までの間、自然音のみで成立するが故に、自然音階とも、模範音階ともいふ。

ハ調長音階の階名

ハ調長音階

音階練習(一)

金剛石 水は器

Andante ♩=92

(一) コンガウ セキモミガカズバテ
 (二) みづは うつはに したがひて

タ マ ノ ヒ カ リ ハ ソ ハ ザ ラ ム
 そ の さ ま ざ ま に な り ぬ な り

ヒ ト モ マ ナ ビ テ ノ チ ニ コ ソ リ
 ひ と は ま じ は る こ も に よ り

マ コ ト ノ ト ク ハ ア ラ ハ ル ン
 よ き に あ し き に う つ る な り

ト ケ イ ノ ハ リ ノ タ エ マ ナ ク
 お の れ に ま さ る よ き じ も ぶ

メ グ ル ガ ゴ ト ク ト キ ノ マ ノ
 え ら び も と め て も ろ じ も に

ヒ カ ゲ タ シ ミ テ ハ ゲ ミ ナ バ
 こ こ ろ の こ ま に む ち う ち て

イ カ ナ ル ワ ザ カ ナ ラ ザ ラ ム
 ま な び の み ち に す す め か し

昭憲皇太后御歌 金 剛 石

金剛石も みがかずば、
 珠のひかりは そはざらむ。
 人もまなびて 後にこそ、
 まことの徳は あらはるれ。
 時計の針の たえまなく、
 めぐるが如く ときのまの
 日かげをしみて 励みなば、
 如何なる業か ならざらむ。

昭憲皇太后御歌 水 は 器

水はうつはに したがひて、
 そのさまさまに なりぬなり。
 人はまじはる 友により、
 よきにあしきに うつるなり。
 おのれにまさる よき友を、
 えらびもとめて もろ共に、
 ころの駒に むちうちて、
 まなびの道に すすめかし。

春の野

mp $\text{♩} = 92$ Lieder lexikon より

(一) ヤ マ ノ ハ シ ラ ミ テ ア ケ ユ ク ノ
 (二) か が や く ひ か げ に か げ ろ ふ も
 (三) マ シ ロ キ ヒ カ リ ニ モ モ ト リ ナ

mf

ベ ミ ド リ ノ ク サ ハ ラ チ
 ゆ い ば ら の し た か げ な
 キ ナ ミ ナ ス ム ギ フ テ フ

mp

リ カ フ ツ ユ ノ タ マ ヒ カ リ ユ ラ グ
 が る せ せ ら ぎ に ひ び き こ も る
 キ ユ ク ハ ル カ ゼ ニ ノ ベ ハ ノ ド カ

§18. 弱起小節

四分の四拍子に於て、第四番目の弱い音から始まる時は、之を弱起小節といひ、最後の小節と合せて完全な一小節を成す。

四分の四拍子の強聲

弱 強 弱 中 弱 強 弱 中

∨は息を継ぐ所の記號

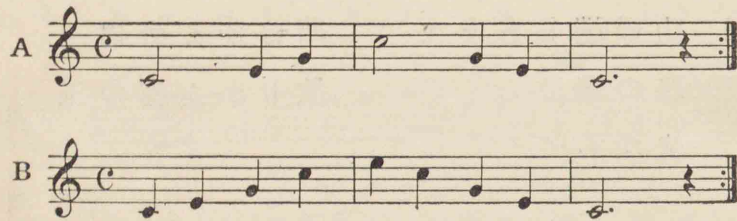
春の野

文學博士 藤村 作

- (一) 山の端しらみて 明けゆく野邊
 緑の草はら 散りかふ露の玉
 光ゆらく。
- (二) 輝く日影に ^{かげろふ}陽炎燃ゆ
 いばらの下影 流るゝ瀬々らぎに
 ひびきこもる。
- (三) 眞白きひかりに 百鳥啼き
 浪なす麥生を 吹きゆく春風に
 野邊は長閑。

和音の練習

(之を半音づゝ上げて練習する)



音と音との調和を和聲といふ。(前出)

§19. 發想記號 (一)

發音に関する記號

A 圓滑連續を示す記號の内、高さの異なる音と音とを連ねた括弧をスラーといひ、その間を圓滑に唱奏する。

(例)



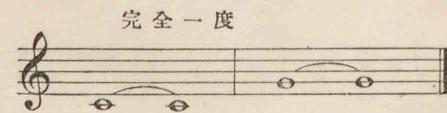
§20. 音程 (一)

或る二つの音の高さの關係を總べて音程といふ。



(a) 完全一度

全く同一の度に在る音程を完全一度といふ。

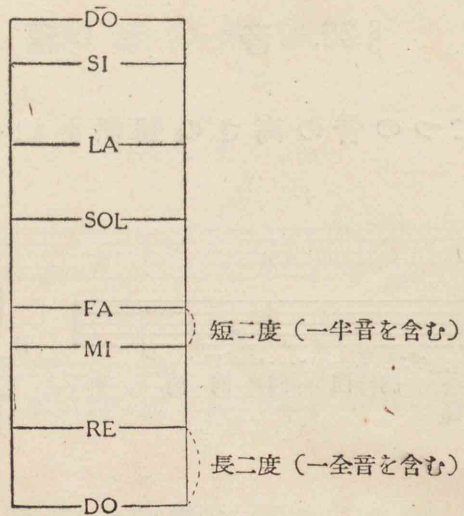


(b) 長、短二度

或る二音間が二度に互り、一全音を含む音程を長二度、一半音を含むものを短二度といふ。



音階圖表上の長、短二度



音程練習 (二度)

A

B

誠の徳

H. Himmel

$\text{♩} = 59$
mp

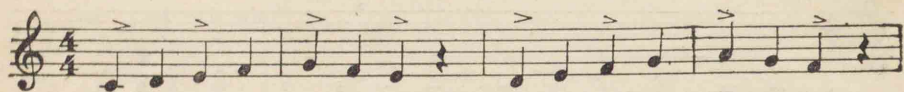
マコトノトクこそみたまをか
まことの徳こそみたまをか
みおのれのふむべきにぞ照らす

誠の徳

傳田治朗

- (一) 誠の徳こそ 身を正すかがみ
磨けば心の 奥よりいよよ
光を放つ。
- (二) まことの徳こそ 身を守る鑑
おのれの踏むべき 正しき道を
常にぞ照らす。

音程練習 (二度)



§ 21. 八音

或る音から、八つ目の同名音の間を八音、又は
オクターブといふ。

八音の例



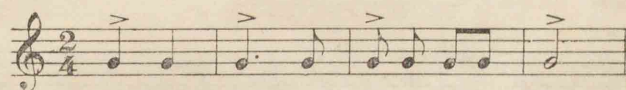
§ 22. 二拍子 (-)

二拍子は一小節内を二拍に數へるもので、その
強弱は|強、弱|強、弱|と交互に循環して表れる。

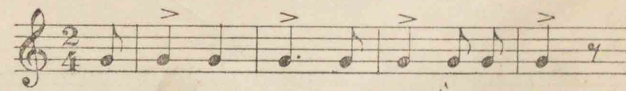
§ 23. 四分の二拍子

四分音符を一拍の單位として二拍に數へるも
のは四分の二拍子といひ、 $\frac{2}{4}$ を以て拍子記號と
する。

強聲部から始まる二拍子



弱聲部から始まる二拍子



友 愛

♩=84

C. G. Glaser

mp

(一) ク ラ ク ト モ ニ チ カ ー ヒ テ シ
 (二) ま つ の み さ を か へ ぬ ご こ
 ソ ソ ミ ヲ リ ヌ ト レ ド レ

mf

ト モ ノ ナ サ ケ ミ ニ ー ゴ シ ム
 ち ギ り む す ぶ き み ー ご わ れ

mp

イ ノ ー チ ア ラ ム ヨ ノ ー カ ギ リ
 い ろ ー し あ せ ず ま じ ー ら ひ て

mf *mp*

カ ヨ フ コ コ ー ロ カ ハ ー ラ シ ナ
 ち か ら あ は ー せ よ に ー た た む

友 愛

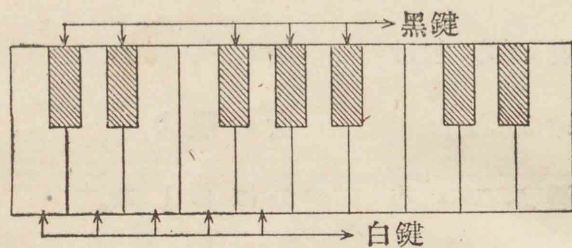
福 屋 基 千 代

(一) 苦樂共に 誓ひてし
 友のなさけ 身にぞしむ
 命あらむ 世の限り
 通ふこゝろ かはらじな。

(二) 松の操 變へぬごと
 契りむすぶ 君とわれ
 色しあせず 交らひて
 ちから合せ 世に立たむ。

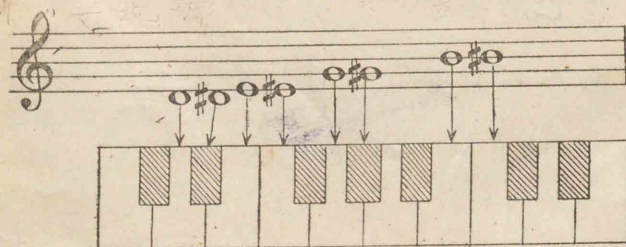
§ 24. 變化記號 (一)

何等變化記號の附かない音を本位音或は自然音といふ。ピアノ、オルガンのやうな樂器の白鍵音は之に當る。



本位音を上げ、或は下げるに用ゐる記號を變化記號といふ。

a # ^{シャープ}嬰記號といひ、一半音上げるに用ゐる。



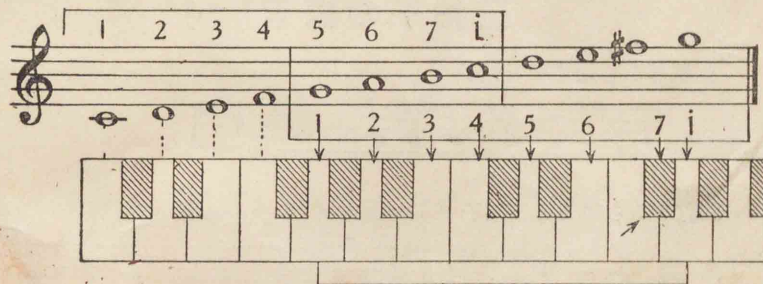
變化記號が各譜表の首部に記される時は、其の譜表の中にある同名音は皆變化せらる。之を調號又は調子記號といふ。

§ 25. ♭調の長音階

♭調の長音階は、「^ド」音を第1音(Do)として構成される。この場合第7音「^ヘ」は嬰を付けて半音上げる。

この嬰を「♯」を「♭調」の調號とする。

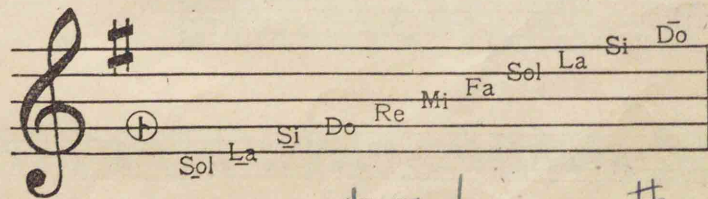
♭調長音階



♯調長音階

調號は、各譜表の音部記號の次に、その位置を明瞭に記す。

♭調長音階の階名



♭調長音階の階名
♯
♯

§ 26. 三 拍 子

三拍子は一小節内を三拍到數へ、その拍子は
|強、弱、弱|と循環して現はれる。

§ 27. 四分の三拍子

四分音符を一拍の單位としたものは之を四分
の三拍子 $\frac{3}{4}$ といふ。

三拍子の練習 (a)

強聲部から始まる三拍子

弱聲部から始まる三拍子

§ 28. 八分の三拍子

八分音符を一拍の單位としたものを八分の三
拍子 $\frac{3}{8}$ といふ。

三拍子の練習 (b)

ト調長音階の讀方練習

拍子練習

A

B

C

D

34. 半音 半音

樵夫の歌

キコリ

♩=60

Volkslied

mp *p*

ドコカデ トリガナ オチ ル トキラリ
どこかで はなのかがす る こきをり

mf

カゼガト糸 ル キコリノ デイヤケフモヒ
くもがこほー る きこりの ぢいやけふもひ

mf *dim.*

トリデ六グワク ヒコクヒルサガリ
こりかねむい ひーのひるさがり

拍子の読み方

(二) トヲミ ト - トヲニ トミ ト - ニ (ト)

樵夫のうた

川井秀子

(一) 何處かで鳥が啼いてる

時折風が通る

木樵の爺や今日もひとりで

六月の日の晝下り。

(二) どこかで花の香がする

時折雲が通る

きこりの爺や今日もひとりで

眠い日の晝下り。

あこがれ

mp $\text{♩} = 84 - 92$ Volkslied

マダミス トホイ フルサト ニハ
 やしのは しげる なんやう のと
 ミドリノ オメメ キンノカ ミゴ

ジメテ カヘル コノヤス ミオー
 こはるのくに ゆめのくに
 モンノカゲニ エミカハ ストー

モヘバ ソゾロ ムネヲ フルオー
 ぞみを のせて ふねは ゆくわー
 ナリノ ウチノ メリー サンアー

mf

dim.

ミヤゲ カヘバ ムネヲ フル
 れも ゆき た い ゆめの く に
 ソン デ ミ タ イ メリー サ ン

拍子及び音程練習

あこがれ

後藤夏子

- (一) まだ見ぬ遠い故里に
 初めて歸るこの休み
 思へばそぞろ胸をどる
 お土産買へば胸をどる。

- (二) やしの葉繁る南洋の
 常春の國夢の國
 のぞみを乗せて船は行く
 われも行きたい夢の國。

- (三) みどりのお目々金の髪
 ご門のかげに笑み交す
 隣のうちのメリーさん
 あそんで見たいメリーさん。

§ 29. 二拍子 (二)

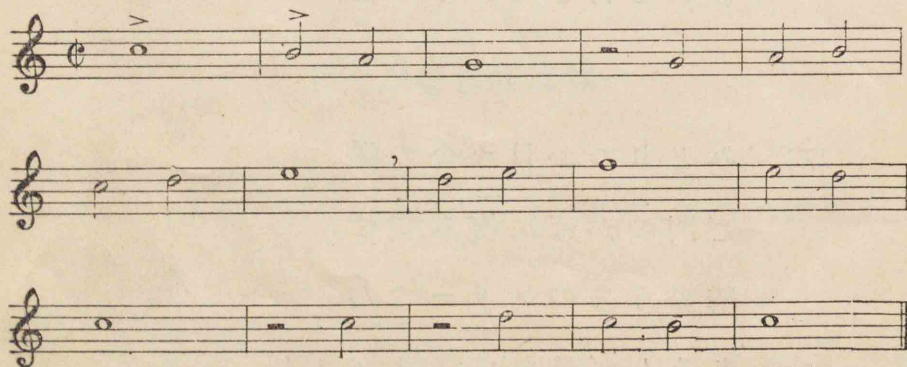
二分の二拍子

二分の二拍子 $\frac{2}{2}$ は、一小節内に、二分音符が二つ、若くは之に相當する音符或は黙符があつて、二拍到數へるものである。

即ち一拍の單位は二分音符で、|強、弱、|強、弱、|と現はれる。



拍子及び音程練習



F. Wüllner

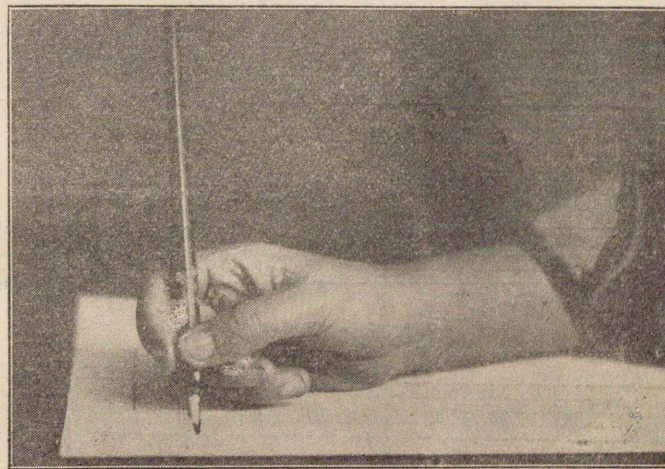
§ 30. 樂譜の書き方

樂譜は無形の音樂を有形に表すもので、一の有形の音樂ともいへる。故に之を書き記す場合には正確に、且美しく、且速きを貴ぶ。

書き方心得

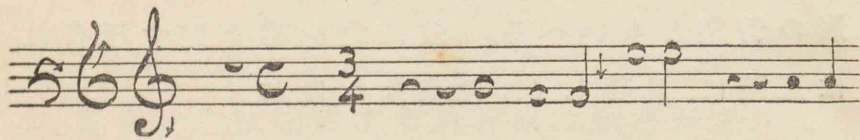
- a. 樂譜を書くペンは「ペン」を用ゐること。
- b. ペンの腹は眞右を向かせ、食指と中指の先きにて挟み、拇指を以て上から抑へ持つ。
- c. ペンと五線とは並行し、軸の右方に傾く程度は四十五度前後がよい。
- d. ペンの先きは常に平らに觸れること。
- e. インキを餘り多く付けぬ方が書きよい。

(ペンの持ち方)



§ 31. 楽譜の書き方 (練習の一)

音部記號、拍子記號、音符の書き方 (一)



(二)



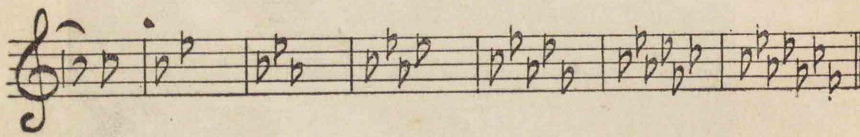
(三)



高音部譜表に於ける嬰記號の書き方



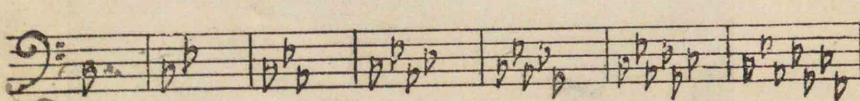
同 變記號の書き方



低音部譜表に於ける嬰記號の書き方



同 變記號の書き方



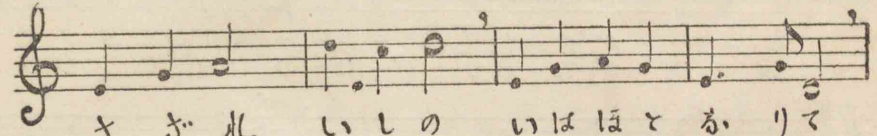
§ 32. 楽譜の書き方 (練習の二)

君が代

林 廣守



きみがーよーはちよにーやちよに



さぶら いしの いはほとかりて

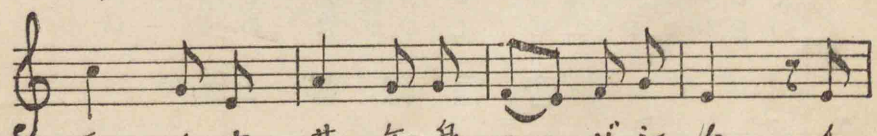


こりの むーすーまーで

(練習の三) (友愛)



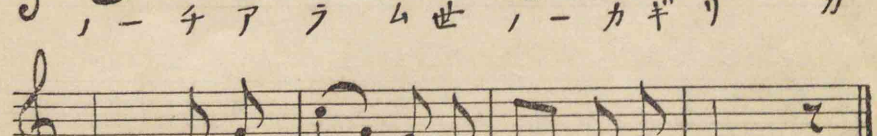
いクラクト モニチ カーヒテ シト



モノナサケ身ニージシムイ



ノーチアラム世ノーカギリカ



ヨフココロカパーラジナ

汐 干 狩

Moderato

M P. Callege songs ㊦

mp

(一) オ サ ゲーノ カ ミーニハ ヒカ ゲガニホ
 (二) こ か ぜーに ふ かーれーて ひる ねのゆめ

mf

ヒ ハ ル カーナウ ミーニハ ミドリガ ツツ
 か ひ が たーの ひ がーたーの はま ぐりが ひ

p *mf*

ク ツツ ク ハマ ペ ニ タ ス キ ヲカ ケ
 は ちさ な くま で の つめ にも か か

mp *cresc.*

テ テ カ ヲサ ゲー ツー ツワラ ヒサワギ ウチ
 る か か ら よ ろーこぶ よば れよん で えも

dim.

ム レテ ユク ユク ヨ シホ ノ ヒガ タ
 の を み せ る た の し ひ が た あ そ び

音 程 練 習 (二度)

F. Wüllner

汐 干 狩

湯 下 誠 一 郎

- (一) おさげのかみには ^{ひかげ}日影がにほひ
 遙かな海には ^{みどり}みどりがつゞく
 つづく濱邊に たすきをかけて
 手籠^{てかご}提げつゝ わらひさわぎ
 うちむれて行く 行くよ潮の干潟^{ひがた}。
- (二) 微風^{かぜ}に吹かれて ひる寝の夢か
 干潟の干潟の はまぐり貝は
 小さな熊^{くま}手の 爪にもかゝる
 かかるよろこぶ 呼ばれ呼んで
 獲物^{もの}を見せる たのし干潟あそび。

來れ夏休み

♩ = 96 - 112

Volkslied

mb

(一) キ タ レ キ タ レ ナ ツ ヨ ナ ツ ノ
 (二) き た れ き た れ な も よ な も に
 (三) イ ク ヒ イ ク ヨ マ ツ ハ ナ ツ ノ

mf

ヤ ス ミ ヨ ウ レ シ タ ノ シ
 ヤ ス ミ ヨ ウ レ シ タ ノ シ
 ヤ ス ミ ヨ カ ツ ヘ タ ヲ ル

f

ナ ツ ハ カ ゼ モ サ ヤ カ ニ
 ナ ツ ハ カ ゼ モ サ ヤ カ ニ
 ナ ツ ハ カ ゼ モ サ ヤ カ ニ

mf

タ ビ シ ユ カ バ カ ナ タ ヒ カ ル
 く も し き れ て ゆ き か ひ か る
 ノ ゾ ミ ワ カ サ チ カ ラ ナ ベ テ

f

ウ ナ バ ラ オ モ フ サ ヘ モ
 い く み ね お も ふ さ ヘ も
 モ タ ラ シ ア ハ レ ナ ツ ハ

mf

タ ノ シ ナ ツ ノ ヤ ス ミ ハ
 う れ し な つ の や す み は
 キ タ ル ナ ツ ノ ヤ ス ミ ハ

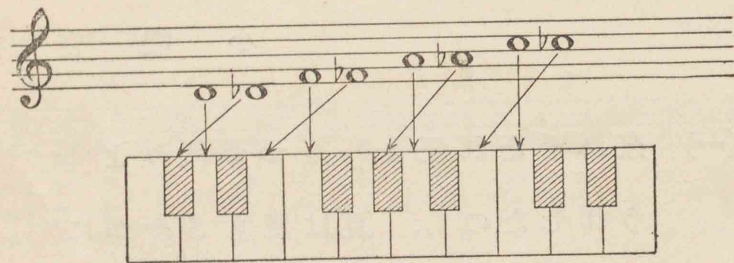
來れ夏休み

小 嶋 吉 雄

- (一) 來れきたれ夏よ、なつの休みよ
 うれしたのし、夏は風もさやかに
 旅しゆかば、かなたひかる^{うなはら}海原
 思ふさへもたのし、夏の休みは。
- (二) 來れきたれ友よ、ともに手を取り
 うれしたのし山へ、やすみとならば
 雲し^き断れて雪か、光る^{いくみね}幾嶺
 おもふさへもうれし、夏のやすみは。
- (三) いく日いく夜待つは、夏の休みよ
 かぞへ^{たを}手折る、を指疲れたるころ
 のぞみ若さちから、なべて^{もたら}齋し
 あはれ夏は來る、夏の休みは。

§ 33. 變化記號 (二)

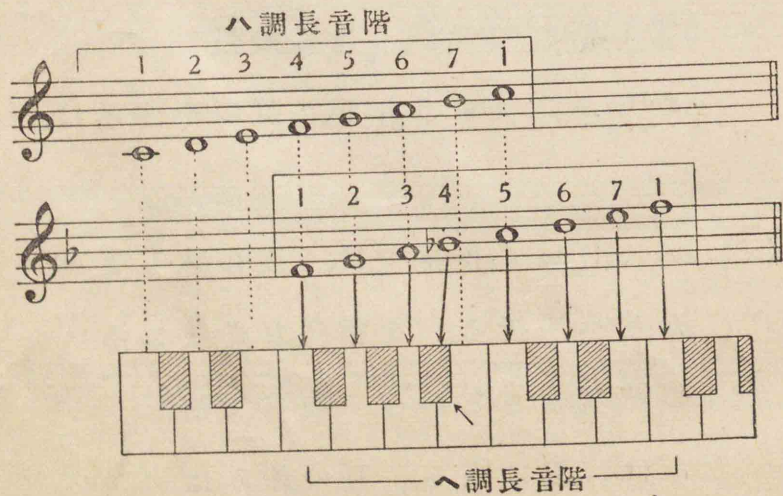
b. ♭ ^{フラット} 變記號といひ、一半音下げるに用ゐる。



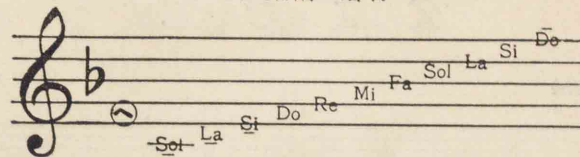
§ 34. へ調の長音階

へ調の長音階は、「へ」音を第1音 (Do) として構成する。この場合第4音[口]は變化されて半音下げられる。

此の變化を「へ調」の調號とする。



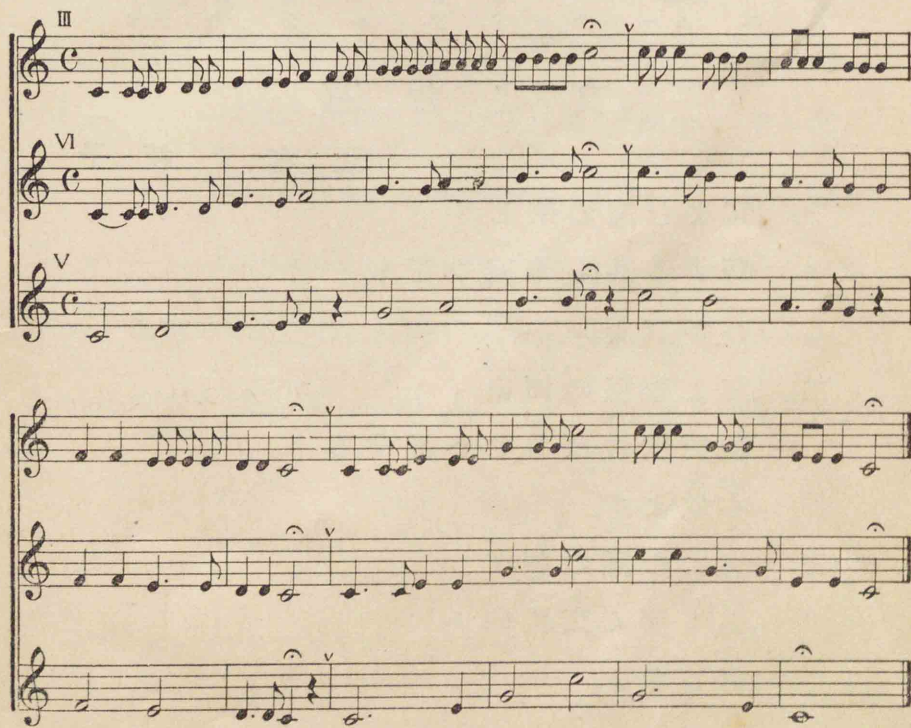
へ調長音階の階名



へ調長音階の読み方練習



音階練習 (二)



文よむ窓

♩=96-104 *mp* Volkslied

文よむ窓

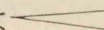
正木千枝子

- (一) 文よむ窓の楽しさ
囀る鳥も千種の花も
わが友よ。
- (二) 文よむ窓の面白
秋風吹けば月さへ冴ゆる
心地よや。
- (三) 文よむ窓の朝夕
心も清く文机向ふ
嬉しさよ。

§ 35. 發想記號 (二)

發想標語及び記號

拍子として自然に現はれ來る強弱の外、特に曲の趣を十分發揮する爲めに附ける發想標語及び記號は次のやうである。

(略語及略號)	(原語)	(読み方)	(意味)
p	Piano	ピアノ	弱く
f	Forte	フォルテ	強く
mp	Mezzo Piano	メゾピアノ	やゝ弱く
mf	Mezzo Forte	メゾフォルテ	やゝ強く
pp	Pianissimo	ピアニッシモ	最も弱く
ff	Fortissimo	フォルティッシモ	最も強く
cresc.	又は  Crescendo	クレシェンド	段々強く
decresc.	又は  Decrescendo	デクレシェンド	段々弱く

舟 遊 び

Volkslied

$\text{♩} = 132$

mp *mf*

(一) スズカゼワ タールカハモ イザイザフ
 (二) ヲフづきの ぼーるうなも きらきらひ

f

ネーヲウケテ コゲコゲ コーゲイザウタゴエ
 かーるなみま こげこげ こーげいざあのまつ

mf *f*

アゲツツイザヤト モコゲコゲコゲ コゲコゲコ
 しまかげいざやこ もこげこーげこげ こげこげこー

mp

ゲイザロビヤウシ アハセテイザヤト モコゲコゲコゲ
 げいざたのしき なつのよいざやこ もこげこーげこげ

(格言)

[音楽は人生固有のものなり] (アリストートル)

舟 遊 び

黒 木 耳 村

(一) 涼風わたる川面
 いざいざ舟を浮けて
 漕げ漕げ漕げ
 いざ歌聲あげつゝいざや友
 漕げ漕げ漕げ
 漕げ漕げ漕げ
 いざ櫓拍子合せて
 いざや友 漕げ漕げ漕げ。

(二) 夕月昇る海面
 きらきら光る波間
 漕げ漕げ漕げ
 いざあの松島かげいざや友
 漕げ漕げ漕げ
 漕げ漕げ漕げ
 いざ楽しき夏の宵
 いざや友 漕げ漕げ漕げ。

§ 36. 變化記號 (三)

c. 調號。 # 或は b が、その調を造る爲めに必要な場合に用ゐられる時は、調號として譜表の首め、音部記號の次に、その變化される音名の位置に記す。かくするときはその譜表全部の同名音に變化が及ぶ。



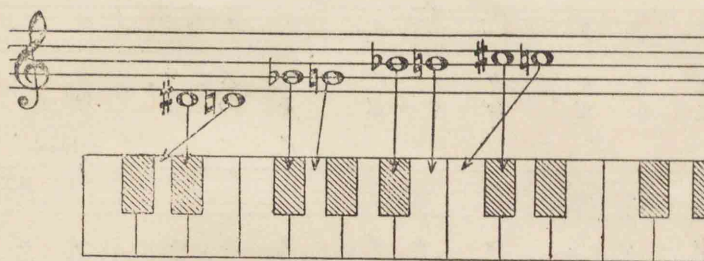
「ト調長音階」のとき 「ヘ調長音階」のとき
變化される音の一例 變化される音の一例

d. 臨時記號。 轉調等の爲め、調號以外、臨時に變化されたる場合は、臨時記號として、その小節内の付けられた音以後の同名音を變化する。

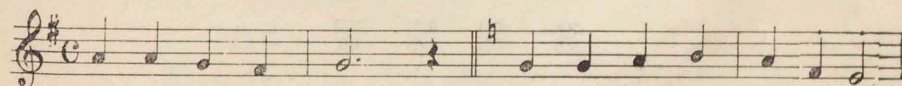


§ 37. 變化記號 (四)

e. ^{ナチュラル}本位記號。 本位音が、調號又は臨時記號によつて變化された場合、元の本位音に戻す記號を本位記號といふ。



本位記號は主として臨時記號として用ゐられるが、時に調が變る場合も用ゐる。その時は、それ以後の變化記號は、全く效力を失ふ。



臨時記號として # 又は b が付けられた次の小節の同名音には、勿論本位記號は不必要であるが、時に参考までに付ける事がある。



鈴 蘭

mf *mp* *f* *mp* **Volkslied**

♩ = 96

(一) エメ ル ホ シー ノ ス ガ タ サ ナ ガ ラ ニ
 (二) つ ゆ を や ゴー す ひ ろ き は の か げ に

ヒ ラ キ カ ナ ル ス ズ ラ シ ナ
 こ り て む す ぶ そ の は な

ヲ シ ヘ マ ナ ブ ワ ガ ニ ハ ニ
 わ ざ を は げ む わ が そ の に

mp

ウ ツ シ ウ エ テ ッ チ カ ハ ム
 う つ し う ゑ て た の し ま む

音 程 練 習 (二度)

F. Wüllner

鈴 蘭

湯 下 誠 一 郎

- (一) 笑める星のすがたさながらに
 開きかほる鈴蘭
 教まなぶわが庭に
 移し植ゑて培はむ。
- (二) 露を宿すひろき葉のかげに
 凝りて結ぶその花
 技をはげむ我が園に
 移し植ゑてたのしまむ。

ドレミソラソラミ
 ドミソラソラソラ
 ミミレミソソファミドレド

§ 38. 轉位強聲 (又は切分音)

轉位強聲とは各小節内に、拍子の法則によつて現はれて來る強聲部と弱聲部とが、或る記號によつて位置を轉換する現象をいふ。

今、或る一小節内に於て、若くは他の小節に涉つて同度の音が、弱聲音から強聲音に弧線によつて結ばれた時は、其の弱聲音は變じて強聲音となる。其の弧線を帶(タイ)といふ。轉位強聲は平調なる拍子、即ちリズムに變化を與へるものである。

何もつかぬ普通の拍子

轉位強聲を附けられ變化した拍子

前と同一の書き方

轉位強聲に準ずる例

轉位強聲練習

A

F. Wüllner

B

F. Wüllner

S onoe Misawa

-(56)-

♩ = 120

金波銀波

F. Lehar

ア サ ヒ ハ ハ ル ケ ク ミ ナ ミ マ
つ き か け き よ け く な み ま
ニ ノ ホ リ シ ロ カ ネ コ ガ
に う つ り し ら た ま ま た
ミ タ タ ヨ ビ ナ ガ ル ウ ル ハ
ま た た よ ひ う か ふ う る は
シ ウ ル ム ジ ア サ ヲ ウ ミ
し う る は し よ る の う み
ミ タ ナ リ タ ヘ ナ
の た へ な り た へ な
リ ア サ ノ ウ ミ ヤ
り よ る の う み や

§39. 發想記號 (三)

發音に關する記號 (の續き)

b. 同じ高さの音と音とを括弧したものをタイといふ。その音を分離せずに唱奏する。

-(57)-

金波銀波

犬童球溪

(一) 旭ははるけく波間にのぼり

白がね黄金漂ひ流る

美し美し朝の海や

妙なり妙なり朝の海や

(二) 月かげ清けく波間に映り

白玉眞玉漂ひ浮ぶ

美し美し夜の海や

妙なり妙なり夜の海や

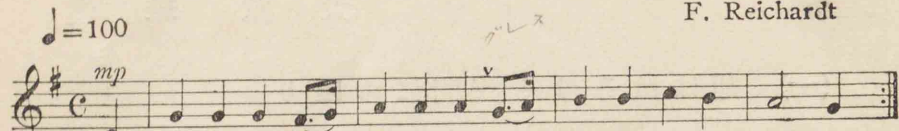
§40. 反覆記號 (一)

樂曲の或る部分、又は全部を反覆して唱奏する時に用ゐるものを反覆記號といふ。

a. 反覆記號と反覆の順序

秋 の 山

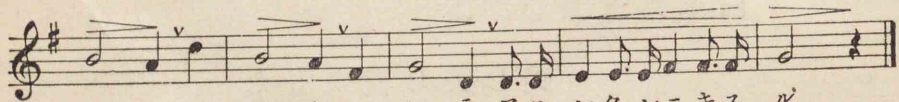
F. Reichardt



(一) イ ロ ヅ ク モー ミ デ ニ イー ロ ヅ ク コ ノ ミ
 (ニ) シ キ ヲ サー ラ シ テ マー タ マ ヲ カ ザ ル
 (三) の ま り くー ぐ り て おー ち ば を け し み て
 り り ほー こ る は はー つ た け し め ぢ



ウ ル ハ シ ウー ル ハ シ ター ツ タ ノ ヒー ヌ カ モ ソ
 お も し ろ おー も し ろ いー へ ぢ を わー ず れ て わ



メ テ オ リ テ ス ヒ テ ア ハ レ タ レ ニ キ ス ル
 ら ひ う た ひ さ け び あ は れ ひ こ ひ お く る

拍 子 練 習



秋 の 山

犬 童 球 溪

(一) 色づく紅葉に 色づく木の實
 錦を晒して 眞玉をかざる
 美はし美はし 立田の姫かも
 染めて織りて繡ひて

あはれ誰に著する。

(二) 木の間をくぐりて 落葉をふみて
 とりどり誇るは 初茸しめぢ
 おもしろおもしろ 家路を忘れて
 笑ひ歌ひ叫び

あはれ一日送る。

月 影

Volkslied

Adagio *mp*

(一) ミ ソ ラ タ カ キ ツ キ カ ゲ ヒ カ リ
 (二) か ぜ に そ よ ぐ あ き ぐ さ つ ゆ に
 (三) ク サ ノ カ ゲ ニ ス ダ キ テ コ コ

ス ミ テ サ ム ケ シ ワ タ ル
 や ん る つ き か げ た ま ん
 カ キ ン ナ ク ム シ オ モ ヒ

poco cresc. *mp* *rall.*

カ リ ノ ユ ク ヘ ミ ル ソ サ ビ ン キ ー
 く だ け き ゆ へ る み る ぞ わ び し キ ー
 サ エ テ ト ホ キ ト モ ノ ニ ヒ シ キ ー

月 影

文學博士 藤 村 作

- (一) み空高き つきかげ
 ひかり澄みて 寒けし
 わたる雁の 行方見るぞ 淋しき。
- (二) 風にそよぐ 秋ぐさ
 つゆに宿る 月かげ
 玉と碎け 消ゆる見るぞ わびしき。
- (三) 草のかげに すだきて
 心かぎり なく蟲
 おもひ冴えて 遠き友ぞ こひしき。

§ 41. 速度標示 (一)

a. 標語を以て楽曲の速度を示すを速度標語といふ。(其の一)

Moderato モデラート 中等に、程よき速さ(前出)

Adagio アダージオ 遅く

Andante アンダンテ やゝ遅く

Rallentando 又は rall. ラルレンタンド 段々延長す、

Poco ポコ 僅かに

(此の語は他の標語と併せ用ゐられる)

b. 數字の標示。一分間に幾つ數へるといふ正確な速さを指定するものである。例へば

♩ = 116 四分音符を一分間に百十六數へる速さ、

M.M. ♩ = 86 八分音符を一分間に八十六數へる速さ、

(M. M. とは "Maelzel's Metronome" の略字で、メトロノーム(拍節機)で一分時間に拍つ數を表示するものである。)

里 祭

L. Erk.

mf *f*

(一) め だ た や け つ ハ サ ト ノ マ ツ リ チ さ
 (二) こ こ し は ほ う ね ん ほ う ね ん ま つ り さ

ン ジ ュ ノ ミ ヤ ノ ニ ギ ロ ハ シ サ ヨ フ
 と ち ゅ う い は ひ よ ろ こ び み つ い

mf *f*

エ ノ ネ ス ズ ノ ネ タ イ コ ノ オ ト ア
 へ い へ み ち み ち ち ゃ ー ち ん つ け は

チ ラ ニ カ グ ラ コ チ ラ ニ ダ シ
 な び は そ ら に た え ま も な し

音 程 練 習 (三度)

F. Wüllner

里 祭

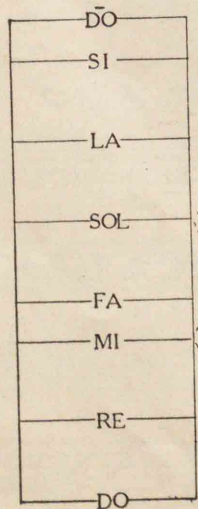
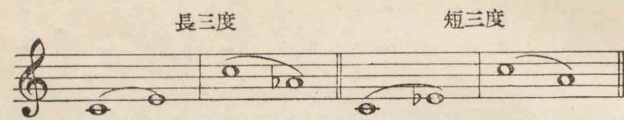
傳 田 治 朗

- (一) め だ た や 今 日 は 里 の 祭
 鎮 守 の 宮 の に ぎ は し さ よ
 笛 の 音 鈴 の 音 太 鼓 の 音
 あ ち ら に 神 樂 こ ち ら に 山 車。
- (二) 今 年 は 豊 年 豊 年 ま つ り
 里 中 祝 ひ よ ろ こ び 満 つ
 家 々 道 々 提 燈 點 け
 花 火 は 空 に 絶 間 も な し。

§ 42. 音 程 (二)

(C) 長 短 三 度

或二音間が三度に互り、二全音を含む音程を長三度、一全音と一半音を含むものを短三度といふ。
(長三度と短三度とは 長、短音階の性質を表はす大切な音程である)



音階圖表上の長、短三度

亡 き 友

Andante *Volkslied*

mp *mf*

(一) ア キカゼソヨ フーキ カリガネワ タール サ
(二) あ きざりたち こーめ つ きかげか すーか づ

リニシワ ガトモヨ ベドモコター ヘズ ミ
きにし わ がこも ま ねけどかへー らず な

ソラノ カリガネツ ゲヨヤオトー ツレ
きたま い づこぞ つ きにやははー まし

亡 き 友

福 屋 基 千 代

- (一) 秋風そよ吹き
雁^{かり}がねわたる
去りにし我が友 呼べども答へず
み空の雁がね 告げよやおとづれ。
- (二) 秋霧たちこめ
月影かすか
逝きにし我が友 招けどかへらず
なき魂^{たま}いづこぞ 月にや問はまし。

大和撫子

Moderato *mf*

Fr. Schneider



(一) ユキマツワケテモユルムギノメハルノヒアビテノビルワラービツ
 さまにきよくかほれるうめこ
 バサモカロークスダツコトリアメ
 ゑものすごくもふきすすぶかせあめ
 ツチノメーグーミミチアフルー
 つちのしーれんのみにふりかか

(二) ルトキユカシクモノビユカンワ
 るこきををしくものびゆかんわ
 ガヤマトナデシコ
 ガヤまこなでしこ

三和音練習



大和撫子

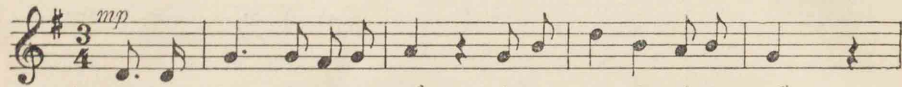
川井 秀子

- (一) 雪間をわけて 萌ゆる麥の芽
 春の陽浴びて のびるわらび
 翼もかろく 巢立つ小鳥
 天地のめぐみ みちあふるゝ時
 ゆかしくも伸びゆかん
 わが大和撫子。
- (二) 霜におごりて 匂へる菊
 雪間に清く 香れる梅
 聲もの凄くも 吹き荒ぶ風
 天地の試練しんれんの 身にふりかゝる時
 雄々しくものびゆかん
 わが大和撫子。

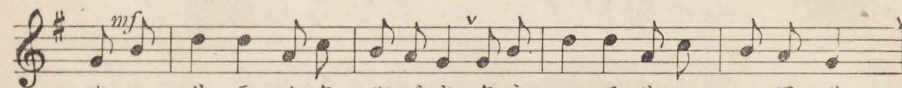
楽しき家路

Andante

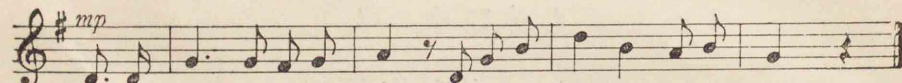
Volkslied



(一) タノシキイヘデ ウレシキイヘデ
 (二) たのしきいへぢ うれしきいへぢ
 (三) タノシキイヘデ ウレシキイヘデ

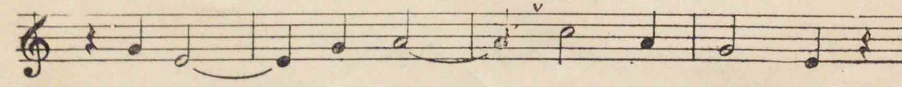
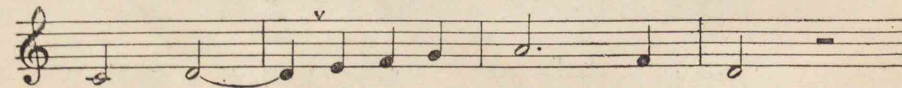
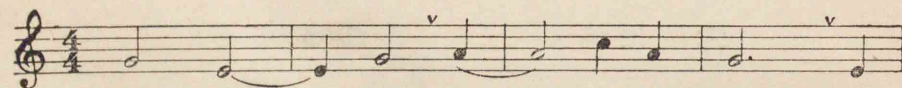


カヘリテカタルベキタネハモサハニアリ
 ギざうのしらかべにゆふひはまあかなり
 チチハハマチマサムハラカラムカフラム



タノシキイヘデ ムネヲドルイヘデ
 たのしきいへぢ いそがるるいへぢ
 タノシキイヘデ アシヲドルイヘデ

音程練習 (三度)



F. Wüllner

楽しき家路

稲葉小三郎

(一) 楽しき家路 うれしき家路

歸りて語るべき

話材はも多にあり

楽しき家路 胸をどる家路。

(二) 楽しき家路 うれしき家路

土蔵の白壁に

夕日は真赤なり

楽しき家路 急がるゝ家路。

(三) 楽しき家路 うれしき家路

父母待ちまさむ

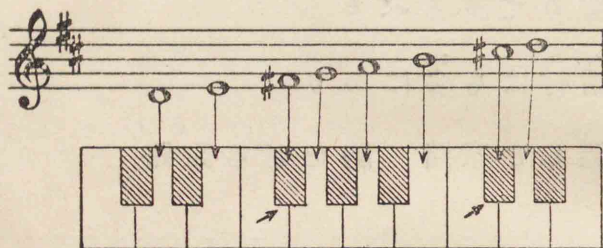
弟妹迎ふらむ

楽しき家路 足をどる家路。

§ 43. 二調の長音階

二調長音階は、「二」音を第1音(Do)として構成する。それが爲めに第3音のへと、第7音のハは半音づゝ上げられる。

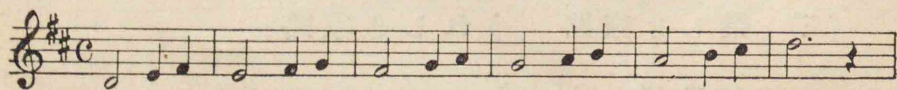
二調長音階



二調長音階の階名



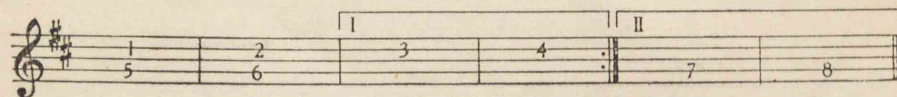
二調長音階の読み方練習



§ 44. 反覆記號 (二)

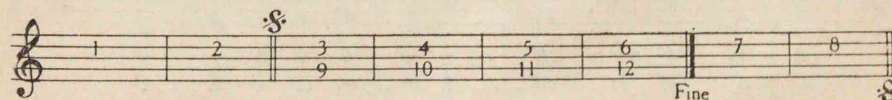
b. 括弧

反覆記號の内、括弧は最終の一部が第一回目と第二回目とが相違する場合に用ゐる。



c. 反接記號

「記號にまで」といふ意味で、原語の Al Segno又は Dal Segnoを其の儘用ゐる事もある。Fineは樂曲の終結を示す。



譜表内の數字は、進行反覆の順序を示したものである。

新春の希望

Moderato

Volkslied

mf

(一) オ ホイ ナールー ソ ラハア フクスーミー
 (二) う る は しーきー は る の の ぞみ こーこー

mp

テ ワ ガ コ コ ロ イー マー シ ヨ ロ コ ビ ニ
 に ほ が ら か に あーけーて は な の か も

f *mf*

アー フール オ オ ユー タ カ ナ ル
 ちー かー し あ あ あー ら た な る

f *dim.*

ヒー カー ゲ タ ダ ヒー カ リ ユ ラ グ
 ひー かー げ わ が まー へ に ゆ ら ぐ

新春の希望

湯下誠一郎

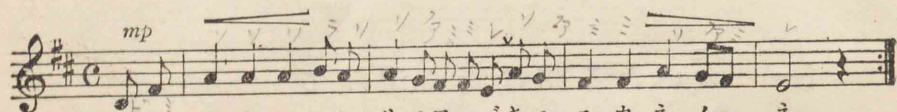
(一) 大いなる空は青く澄みて
 わが心今しよろこびに溢る
 おお ゆたかなる日影
 ただ ひかりゆらぐ。

(二) うるはしき春の希望ここに
 ほがらかに明けて花の香も近し
 ああ 新なる日影
 わが まへにゆらぐ。

今日も暮れゆく

♩ = 88-92

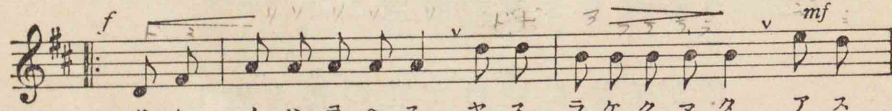
Volkslied



(一) マドチカクヒトリスワレバキコユカネノネ
 (二) (マ) フデヲオキカウベアグレバセマルユフヤミ
 (二) (ま) だごによりひごりおもへばほそきゆづーきり
 (二) (た) ちあがりこのもみやればふかさしづもーり



ソコハカトナキモノノけはひよココロサビシム
 そこはかとなきものけはひよこころさびしむ



(一)(二) ツトメハヲヘスヤスラケクマクアス
 (一)(二) カゼオチハテヌコトモナクイマケフー



モサチアレナク
 ノクレユ

今日も暮れゆく

小島吉雄

(一) 窓ちかく ひとりすわれば

聞ゆ鐘の音

筆をおき かうべあぐれば

せまる夕闇

そこはかとなき もののけはひよ

心 淋しむ

勤めは終へぬ 安らげくまた

あすも幸あれな

風おち果てぬ こともなく今

けふの暮れゆく。

(二) まどに倚り ひとり思へば

細き夕月

たちあがり 外の面見やれば

深きしづもり

そこはかとなき もののけはひよ

心 淋しむ

勤めは終へぬ やすらげくまた

明日も幸あれな

風おち果てぬ こともなくいま

今日のくれゆく。

河水躍る

Allegretto

Volkslied

mf *f*

(一) ヤマノハノ コホリトケテ チカラアフル
(二) きさらぎの そらあをみて ひかりさせる

mf

ミヅノナガレ ヒゴトノネガヒ ケーコソソリテ
みのもわらふ ふくかぜさむく はだえをさせど

mf *f*

カハセノソヨギ ホガラニキコユ マロガリツツ
さざめきみてり きしうつながれ はるのしらせ

cresc. *dim.*

ヲドリツツモ ヒビキスメル ミヅノウタゲ
うたひゆくか おごも たかく そらにひびく

河水躍る

正木千枝

(一) 山の端の氷解けて
力溢る水の流れ
日毎の希望今日こそ成りて
川瀬のそよぎほがらに聞ゆ
まろがりつゝ躍りつゝも
ひびき澄める水の宴。

(二) 如月の空青みて
ひかり射せる水の面笑ふ
吹く風寒く肌をさせど
さざめき満てり岸うつ流
春のしらせ歌ひゆくか
音も高く空にひびく。

今日のよき日

♩=76 *mf* Philip Doddridge

(一)カドナ ミ タテタル アサヒ ノ ミハタ
 (二)ゆきかふ ひごごよろこぶ ゑがほ

ニ ミクニ ノ サカユル スガタ ハ ミエタ
 に くにた み こぞりて なごめる さきろ

リ (一) (イ ハ へ イ ハ へ ケフ
 ゆ (二) (う た へ う た へ けふ

ノ ヨキヒヲ ノキバノ スズノ
 の よきひを むれこぶからす

モ 千代トゾ コトホグ
 も 佳々こぞ こまほぐ

3/2 拍子の數へ方

一 二 三 一 二 三 一 二 三 一 二 三

今日のよき日

犬童球溪

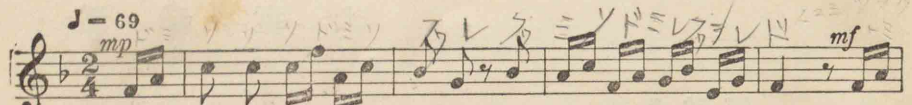
- (一) 門^{かき}毎^{なみ}樹^たてたる旭のみ旗に
 み國の榮ゆる姿は見えたり
 祝へ祝へけふのよき日を
 軒^{のき}端^はの雀も千代とぞ祝^こほぐ
 祝へ祝へけふのよき日を。
- (二) 行き交ふ人ごと喜ぶ笑顔に
 國^{くに}民^{たみ}舉^こりて和^{なご}める様見ゆ
 歌へ歌へけふのよき日を
 群れ飛ぶ鴉も佳^か々^かとぞ祝^こほぐ
 歌へ歌へけふのよき日を。

ドミレドレファミ ミソソ>ミ

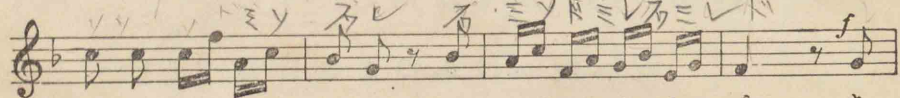
ソミソドレ

鳥の囀り

Miehl



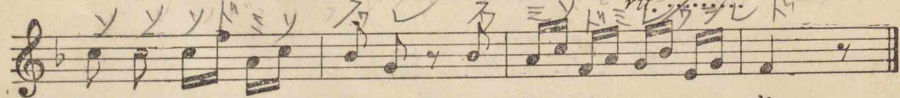
(一) カースミターナービキノヤーマアラーミソ
(二) ひーばりうーぐーひすこゑもーうーらーらはー



ラモノードカニニホーヒソメーバキ
るをわーがーよのこきーをーえーがーはう

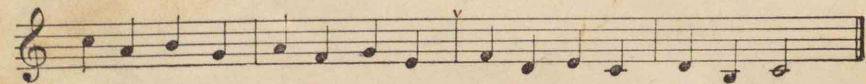


ギノゴーズエニノーラニターカーベニウ
たひさーへーづるしーらべおーもーしろい



タフコートリノシラーペーヨシーヤ
ざやわーれーらもこもーにーうーたーはん

音程練習 (三度)



鳥の囀り

黒木耳村

(一) かすみたなびき 野山あをみ

空ものどかに にほひそめば

木々の梢に 野らに丘邊に

歌ふ小鳥の 調よしや。

(二) 雲雀鶯 聲もうらら

春をわが世の 時を得顔

歌ひ囀る 調おもしろ

いざやわれ等も 共にうたはん。

慈愛の力

Allegretto

Volkslied

(一) ジア イハム ゲンノノゾ ミライ ダーキテ ホ
 (二) じあ いはさ うめいな みまくふちーべにか
 ホ エム ウメ ニモニ ホヒヤ タグーフカ ヤ
 が やく またまの ひかりさ いづれか こ
 ケ ノノハ ラーノ キギ スニマ サーリワ
 を もつーこらーの しつけにーまさーりわ
 レ ラガ ミオ イノメ グミハ フカーケレ
 れらが みおやの なさけは つよーけれ

拍子練習

慈愛の力

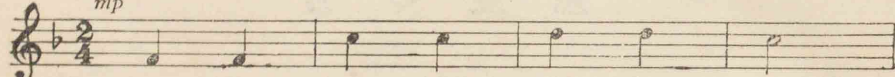
湯下 誠一郎

- (一) 慈愛は無限の希望^{のぞみ}を抱きて
 ほほゑむ梅にも匂ひや類^{たぐ}ふか
 焼野の原の雉^{きぎす}にまさり
 われ等が御親^{みおや}の恵は深けれ。
- (二) 慈愛は滄溟波^{さうめい}捲く淵邊に
 かがやく真玉の光といづれか
 子を持つ虎^{しつげ}の躰にまさり
 われ等が御親のなさけは強けれ。

TWINKLE, TWINKLE, LITTLE STAR

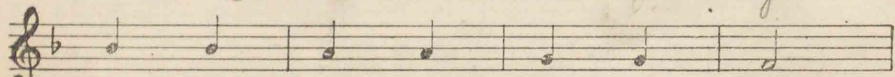
Moderato
mp

Folkssong



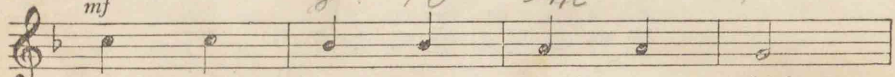
1. Twin - kle, twin - kle, lit - tle star;
2. When the blaz - ing sun is gone,

a b c d e f g



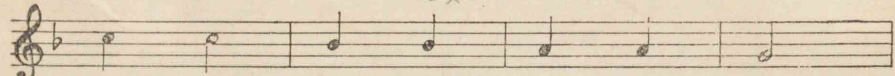
How I won - der what you are,
When he noth - ing shines up - on,

h i j k l m n o p



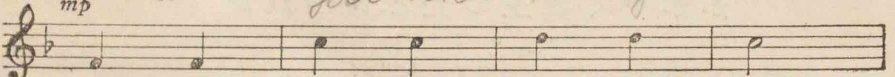
Up a - bove the world so high,
Then you show your lit - tle light,

a r s and t u v



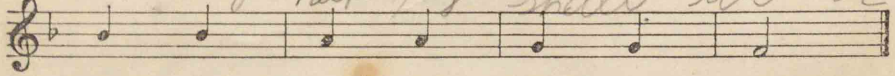
Like a dia - mond in the sky!
Twin - kle, twin - kle all the night.

double you and x y z



Twin - kle, twin - kle lit - tle star,

zap ray hat my shall we be



How I won - der what you are!

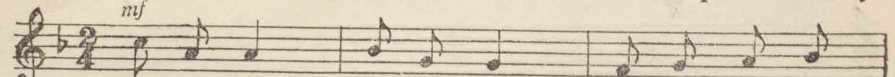
when - learned a b c

when

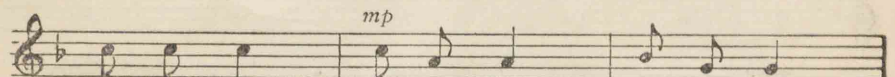
LIGHTLY ROW

Allegretto
mf

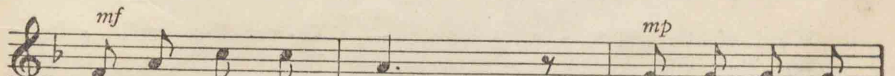
Spanish Melody



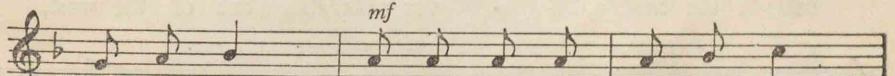
1. Lightly row! Lightly row! O'er the glas - sy
2. Far a - way! Far a - way! Ech - o in the



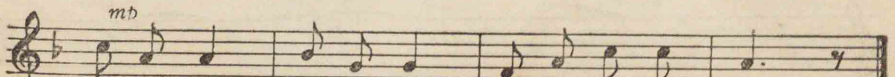
waves we go; Smoothly glide! Smoothly glide!
rock at play, Calleth not, Calleth not,



On the silent tide. Let the winds and
To this lonely spot. On - ly with the



waters be Mingled with our mel - o - dy;
sea-bird's note, Shall our dying mu - sic float!

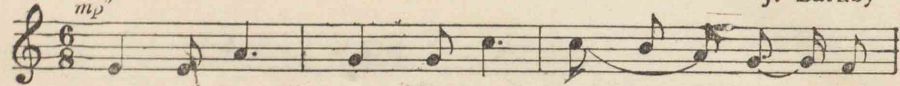


Sing and float! Sing and float! In our lit - tle boat.
Lightly row! Lightly row! Ech - o's voice is low.

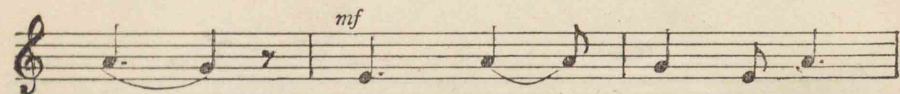
SWEET AND LOW

J. Barnby

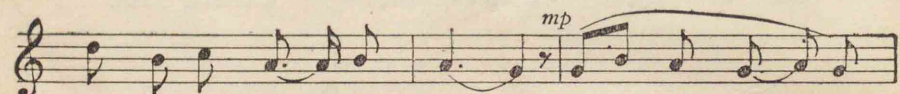
Larghetto
mp



1. Sweet and low, sweet and low, Wind of the west - ern
 2. Sleep and rest, sleep and rest, Fa - ther will come to thee



sea; — Low, low, - breathe and blow,
 soon; — Rest, rest on moth - er's breast,



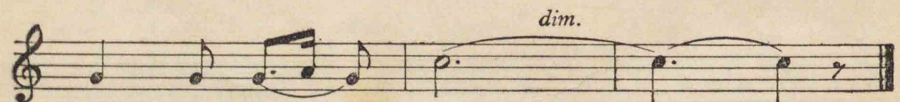
Wind of the west - ern sea; — O - ver the roll - ing
 Fa - ther will come to thee soon; — Fa - ther will come to his



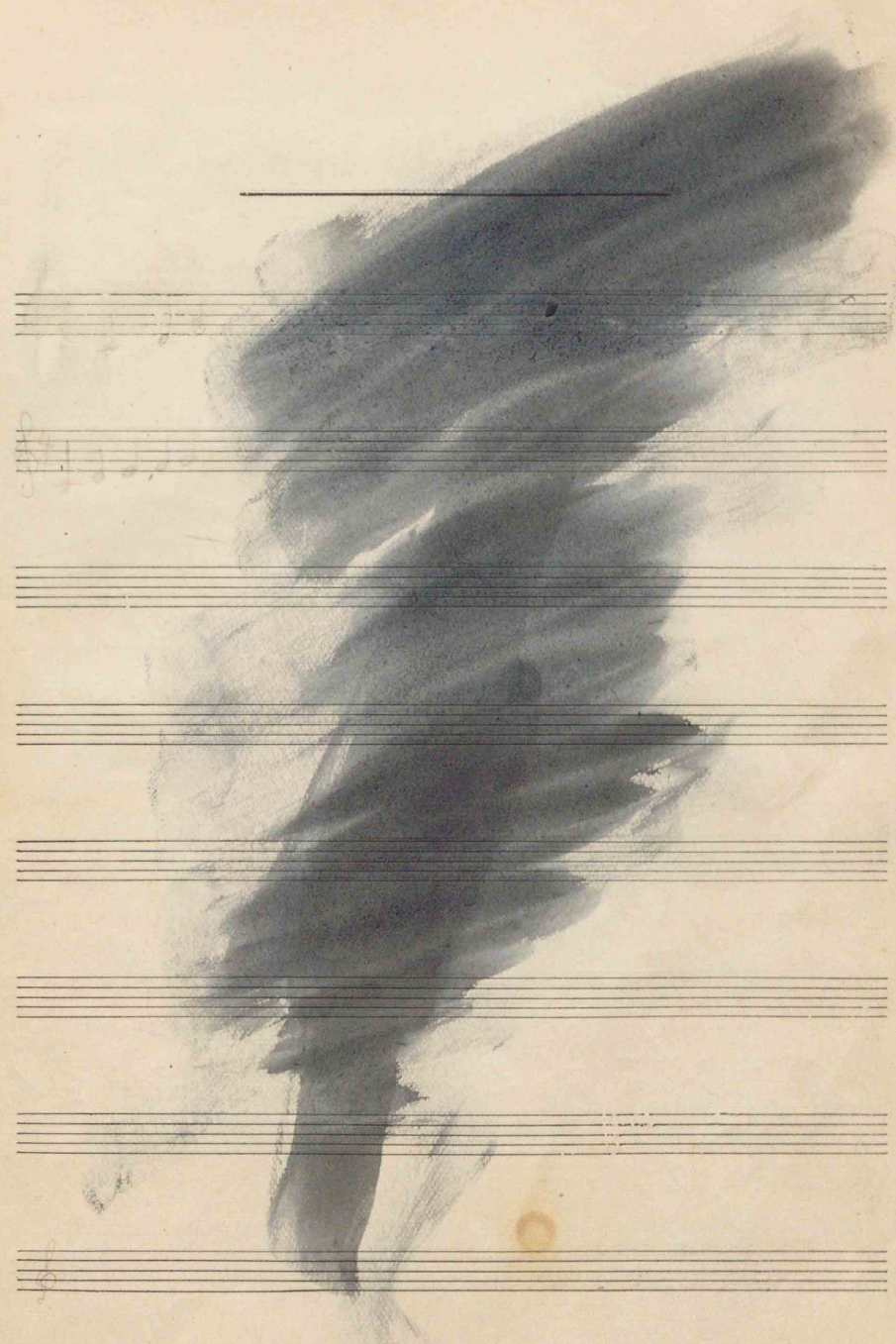
wa - ters go Come from the dy - ing moon - and blow,
 babe in the nest, Sil - ver sails all out of the west,



Blow him a - gain to me, — While my lit - tle one,
 Un - der the sil - ver moon, — Sleep my lit - tle one,



while my pret - ty one sleeps. _____
 sleep my pret - ty one, steep. _____



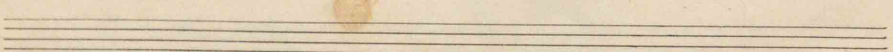
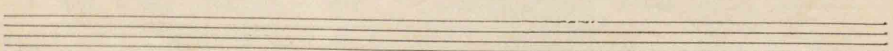
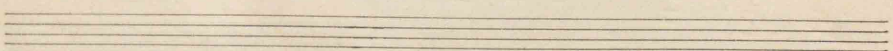
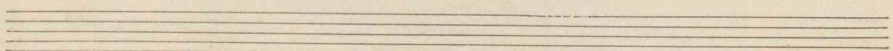
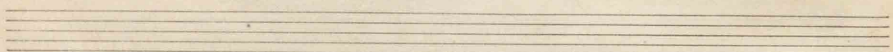
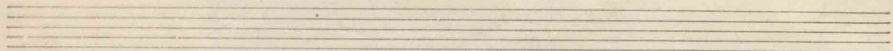
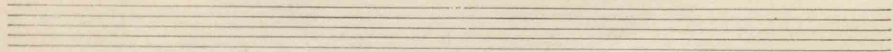
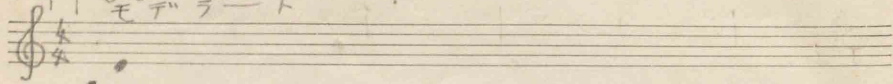
増

月

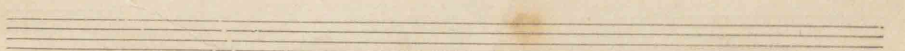
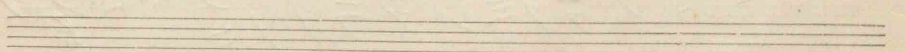
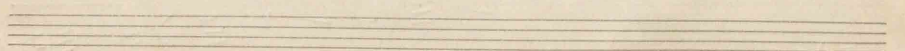
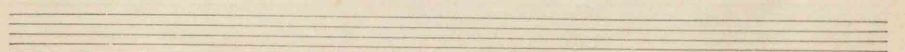
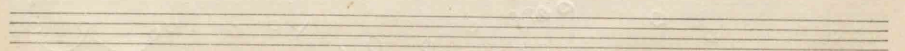
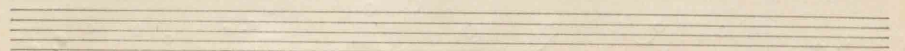
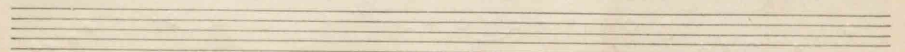
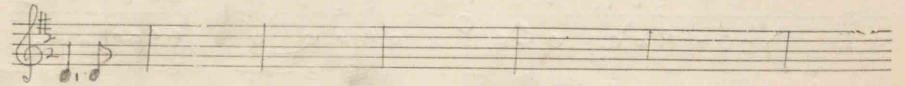
中位の速さ

Moderata

モデラート



大日本



Handwritten musical notation on a five-line staff, consisting of four measures. The notation uses letters and symbols:

Measure 1: ドドド ヨソラソ |

Measure 2: ミミミ ドル |

Measure 3: ドドソソ ~~ド~~ミミ

Measure 4: レレミレ | レレレレレレレレレレ | ドドレド |

Measure 5: ソソミソソラソ |

Measure 6: ドドレレレ |

Measure 7: レレレレレレレレレレ |

Measure 8: ミドドミレ |

Measure 9: ドドソソドド ~~ミ~~レレレレレレ |

Measure 10: ド

Blank musical notation on a five-line staff, consisting of ten empty measures.

Handwritten musical notation on five-line staves with Japanese lyrics.

マフセハトヲトシ フガシノオン
 タカヒ=Aツミシヒガノオン
 アサユフナレニシ マナヒノアド

オシエノニハニモ ハヤイクトセ
 ワカルルノタニモ ヲヨワスルナ
 ホタルノトモニヒ ツクシラマキ

オモハイトトシ コノトシツキ
 ミオタテナオアヂ ヲヨハルメヨ
 ワスルルマツナキ ヌクムツキ

イマコリ ワカレメ イザサライ

文 部 省 検 定 済

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

昭和四年九月二十五日印刷
 昭和四年九月二十八日發行
 昭和五年十一月一日訂正再版印刷
 昭和五年十一月四日訂正再版發行

不 複
 許 製

高等女學校音樂教科書

卷 號	定 價
1	金 五 十 二 錢
2	金 五 十 二 錢
3	金 五 十 錢
4	金 五 十 四 錢
5	金 五 十 五 錢

編 者 渡 邊 彌 藏
 山 本 壽

發 行 者 大 葉 久 治
東京市日本橋區室町四丁目五番地八

發 行 兼 者 柏 佐 一 郎
大阪市西區阿波堀通四丁目二十番地ノ一

發 兌

大阪市西區阿波堀通四丁目 株式會社 大阪寶文館
 神戸市神戶區元町通五丁目
 小倉市京町一丁目

東京市日本橋區室町四丁目 株式會社 寶 文 館

1929.11.8

君が代は

4代に八千代に

さづれいしもの

山照殿と存りて

こけのあすまは

校歌

自然のチチガ

續りたせる

大瀬戸内海の風景も

が前にひかる學び舎の

そのなるわし廿がけらぬ

二海にそびるつた鳥

大女神の聖地かみわせ

お若きもまじき心は

オミ

女の徳を連めなん

三水静かなる三條川

大流れの岸に立、我等

① 不斷のつとめなすらに

學びの道に歩きましょう



第一集
組
内
第

広島大学図書

0130449449

